

学校法人 福原学園
令和3年度事業計画

令和3年3月

目 次

I. はじめに

II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1) 教育研究活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の充実	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	4
(1) 教育研究活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の充実	
3. 自由ヶ丘高等学校	7
(1) 教育活動の充実	
(2) 生徒支援の充実	
(3) 高校運営の強化	
4. 九州女子大学附属幼稚園	9
(1) 折尾幼稚園	
(2) 自由ヶ丘幼稚園	
(3) 鞍手幼稚園	
5. 管理運営	12
(1) 学園内ネットワークの効率的運用	
(2) 組織の若返りによる組織活力の維持向上	
(3) 組織活性化のための制度改革の実行	
(4) 事務職員の能力開発（SD）の推進	
6. 財務・環境整備	13
(1) 収入増加と財政に応じた支出の検討	
(2) 事業別収支体質の強化	
(3) 施設設備の計画的な整備	

※. 添付資料

令和3年度事業計画アクションプラン

- (1) 九州共立大学
- (2) 九州女子大学・九州女子短期大学
- (3) 自由ヶ丘高等学校
- (4) 折尾幼稚園
- (5) 自由ヶ丘幼稚園
- (6) 鞍手幼稚園
- (7) 管理運営
- (8) 財務・環境整備

I. はじめに

福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、2014(平成26)年度からの「福原学園第2次中期計画(5ヶ年)」、および「福原学園第2次中期財政計画(5ヶ年)」で積み残した課題を精査し、継続または新たな改革・施策に着手するため、2019(平成31)年度より「福原学園第3次中期経営計画(5ヶ年)」を策定し、過年度実施項目を点検のうえ、本計画を履行するものである。

II. 事業の概要

1. 九州共立大学

九州共立大学は、「社会に適応できる自立した職業人を養成する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、知識基盤社会で活躍し得る教養と課題追求能力・総合的判断能力・問題処理能力を併せ持つ真摯な学生を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育研究活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の充実の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1) 教育研究活動の充実

職業人養成教育大学として、資格・免許取得を学修成果とし、学生の質に応じた教育活動を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1) 特色ある教育研究活動構築の強化

① 大学教育の質の向上

【九共大AP No.1】

経済学部、スポーツ学部の安定的な学生確保を図るため、社会のニーズに対応した教育組織の改編に係る現行の教育内容・体制の検証を行い、出口管理を強化する。大学院の設置について、経済学・経営学系大学院研究科の設置を進める。また、大学全体の定員管理において、令和3年度からの経済学部の収容定員増(入学定員400人→430人)が認可されたことから、中長期的な視点から定員充足状況および志願状況の検証を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：経済学部収容定員充足率	102%
スポーツ学部収容定員充足率	104%
大学院研究科収容定員充足率	100%

② 免許・資格取得支援の強化

【九共大AP No.2】

第2次中期計画で実践してきた取り組みを継続して実施し、各学部の免許・資格の取得率を向上させるため、公務員試験における公安職(警察・消防等)・行政職に向けた対策、教員採用試験に向けた教職科目の充実を図る。また、日商簿記・ファイナンシャルプランナー・国内旅行業務取扱管理者等の資格支援体制を検証するとともに「やる気支援」の取り組みを通じて、免許・資格支援体制の点検・評価・検証が可能な仕組みを構築し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：経済学部教員採用試験合格者数(延べ数)	2[2]人
スポーツ学部教員採用試験合格者数(延べ数)	12[4]人
経済学部公務員公安職合格者数(延べ数)	30人
スポーツ学部公務員公安職合格者数(延べ数)	30人
経済学部公務員行政職合格者数(延べ数)	4人
スポーツ学部公務員行政職合格者数(延べ数)	3人

アスレティックトレーナー合格者数	3人
トレーニング指導者合格者数	10人
日商簿記(3級以上)・ファイナンシャルプランナー・国内旅行業務取扱管理者合格者数	80人

※[]内の数値は卒業生数

③教育活動に基づいた研究活動の強化 【九共大AP No.3】

高等教育機関の基盤を支える研究を推進するため、科学研究費補助金等申請率および採択件数の増加支援策を検討し、研究業績の蓄積を図るとともに全国学会誌等への掲載を促進する。また、特色ある研究として「九共大ブランド」の構築に向けた原案の作成ならびに研究能力の向上を図るための長期研修制度の原案を作成し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金申請率	76%
科学研究費補助金採択件数	5件
全国学会誌等への掲載件数	30編

2)学修成果を重視した教育課程の構築

①授業科目に係る体系性の構築 【九共大AP No.4】

学修成果の測定方法等を検討するため、単位の実質化、成績基準の明確化・厳格化、履修系統図の実質的な運用、開講科目の体系化・スリム化を検討し、学修成果の測定の可視化を促進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	100%
授業評価フィードバックアンケートの自由記述欄における出席管理・授業時間・授業回数に関する否定的な意見を含まない授業の割合	80%

②学修支援の強化 【九共大AP No.5】

多様な学生に対する学修支援を実施するため、やる気のある学生が伸びることを支援する施策として、学習支援センターが主管する「やる気支援」において、教育課程内科目と密接に連携した運用を行う。また、退学・除籍を未然に防止するための施策として、学習支援センターおよびキャリア支援課就学支援担当職員が担当する就学支援を継続実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：退学率	2.2%
除籍率	0.4%
学生満足度	70%

(2)学生支援の充実

教職員と学生とのコミュニケーションの活性化を図るとともに学生支援体制を充実し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1)キャリア支援の強化

①キャリア形成支援プログラムの充実 【九共大AP No.6】

キャリアデザイン科目との連携を強化し、就職に関する満足度を向上させるため、民間企業希望者に対し職業観を早期に確立させる。また、公務員・教員希望者に対してはK-CIPを中心とした教育課程内での取り組み、「やる気支援」の取り組みを通じて、就職実績・合格者の増加を図る。さらに、キャリア教育・キャリア形成支援体制の点検・評価・検証を行う仕組みを構築し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：上場企業【東証1部・2部】現役内定率	40%
特定業界【金融・保険・JA等】現役内定率	9%

北九州市内事業所への現役就職決定率	30%
公務員公安職 現役合格者数 (延べ数)	60人
公務員行政職【全体】 現役合格者数 (延べ数)	7人
公務員行政職【県庁・政令指定都市】 現役合格者数 (延べ数)	3人
教員採用試験【中高】 現役合格者数 (延べ数)	8人
教員採用試験【小】 現役合格者数 (延べ数)	6人

②卒業生ネットワークの構築 **【九共大AP No.7】**

卒業生ネットワークの構築を図り、卒業生との繋がりや醸成および在学生の就職支援や入試・募集対策に資するため、学内広報誌の第2～3号を発刊し希望する卒業生に広く頒布する。また、20～30歳代の同窓会への参加を促進するための仕組みづくりを検討する。さらに、卒業時アンケート・卒業生アンケートを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：卒業時アンケートの回収率	80%
卒業生アンケートの回収率	10%

2)国際交流システムの構築

①グローバル化への対応の強化 **【九共大AP No.8】**

国際的視野を持って活動できる人材を育成するため、グローバル環境の整備、地域のグローバル化への貢献、別科日本語研修課程（仮）の設置と運営の円滑化およびイングリッシュワークショップの実施による実践的語学力の習得を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページの多言語化の進捗状況	60%
本学日本人学生の留学者数	8人
別科生の人数	15人
イングリッシュワークショップ参加者数	20人

②海外協定校との連携の充実 **【九共大AP No.9】**

現代社会のグローバル化に適応できる人材に成長させるため、海外大学との協定締結の促進、海外協定校との単位互換等の促進に向け検討する。また、併せて海外協定校との人事交流の促進に向けた検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：新規の協定締結校数	2件
留学生の数（短期留学生を除く）	75人
協定校との教員人事交流の数	1人

(3)大学運営の充実

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1)広報活動の強化

①学生募集・広報の充実 **【九共大AP No.10】**

他大学との差異を鮮明にし、高校生を出願から入学に導くため、本学の強みを改めて告知する高校訪問を実施する。また、オープンキャンパス告知方法の充実および高校教員対象の大学説明会を充実させる。さらに、スポーツの強みを生かしたブランディング戦略、女子学生および男子一般学生獲得のための施策、留学生の増加について検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,100人
受験者数	1,100人
女子学生の入学比率	30%
海外の新規大学訪問数	5校

②高大連携の促進 **【九共大AP No.11】**

高校生に対し早い段階から大学の学びに興味を持ってもらうため、実践的な交流が可能な「協定校連携プログラム」および「体験型授業プログラム」を検討する。さらに、系列校・協定校を対象とした「入学前教育プログラム」を開発することで、高大連携協定校の拡充を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：高大連携協定校の拡充 3校

③学力の3要素を踏まえた入試制度改革の促進 【九共大AP No.12】

学力の3要素を踏まえた入試制度改革を促進するため、新たに導入した入試方法など、入試実施後の検証を行い、見直しを継続する。また、アドミッションオフィサー養成のための研修会等へ参加し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：施策の実施率 100%
アドミッションオフィサーの研修参加人数 2人

2) 運営組織体制の強化

①国内の他大学との連携の強化 【九共大AP No.13】

大学間連携を推進するため、2016(平成28)年度に連携協定を締結した協定大学との合同研究会の実施に向けて検討するとともに、類似の学問分野を持つ他大学との連携を地域連携推進センター運営委員会において検討する。また、北九州市との協議において、プラットフォーム体制構築の可能性についても模索し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国内の他大学との合同授業の開催 1件
国内の他大学とのFD・SDの開催 1件

②地域連携・産学連携の強化 【九共大AP No.14】

地域連携・産学連携を推進するため、地域連携推進センターを主として、連携事業プランの進捗管理を行う。また、研究力のある教員との接触を通じて、受託研究、共同研究の促進を図ることとし、以下の成果指標を策定する。

[成果指標]：ボランティア参加学生数(延べ数) 400人
受託研究数 2件
共同研究数 2件

③FD・SDの強化 【九共大AP No.15】

FD・SDを強化するため、学生による授業評価結果を活用した学生や学外者参加型のFDのあり方の検証およびアセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価に係るFDのあり方を検証するとともに、授業改善を促すFD研修を企画・実施する。また、令和3年度のSD研修に関する計画を立案・実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修の参加率 100%
SD研修の参加率 100%

2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、「地域に根差した実践教育を展開する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、社会の期待に応えられる基礎的・汎用的能力を併せ持つ、強くてしなやかな女性を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育研究活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の充実の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育研究活動の充実

学生への丁寧な教育と質の高い教育活動を行い、地域社会の核となる実践教育を展開

するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1) 特色ある教育研究活動構築の強化

① 大学教育の質の向上

【九女大・九女短大AP No.1】

大学教育の質を向上するため、令和2年4月からの教育課程改編の運用管理とともに令和4年度以降の改組について必要な検討を行い、教員組織、教育課程等を検討する。また、大学院研究科設置に向けた担当教員の教育研究業績の検証、定員管理の遵守および安定的な定員充足が可能となる体制を構築し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：家政学部 収容定員充足率	99%
人間科学部 収容定員充足率	88%
子ども健康学科 収容定員充足率	97%
専攻科子ども健康学専攻 収容定員充足率	100%

② 免許・資格取得支援の強化

【九女大・九女短大AP No.2】

各学科・専攻の教員採用試験、免許・資格等の合格率を向上させるため、教員採用試験対策、管理栄養士国家試験対策、一般企業就職対策およびその他の国家資格等の対策を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：教員採用試験最終合格者数（人間生活学科）	4人
インテリア関連資格試験最終合格者数（人間生活学科）	3人
管理栄養士国家試験合格率（栄養学科）	100%
教員採用試験最終合格者数（人間発達学専攻）	45人
国公立保育者最終合格者数（人間発達学専攻）	8人
教員採用試験最終合格者数（人間基礎学専攻）	4人
公立幼稚園・養護教員採用試験最終合格者数（子ども健康学科）	3人
公立養護教員採用試験最終合格者数（専攻科子ども健康学専攻）	5人

③ 教育活動に基づいた研究活動の強化

【九女大・九女短大AP No.3】

質の高い教育活動を実践する基盤である研究活動の促進を図るため、科学研究費補助金等の外部資金獲得のための支援、大学教育改革の基礎となる研究への支援、個人研究費の傾斜配分による研究支援の充実および間接経費を活用した教育・研究環境整備による研究支援を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金申請率	53%
科学研究費補助金採択件数 ※研究分担者は除く	4件
全国学会誌等への掲載件数（延べ）	18編

2) 学修成果を重視した教育課程の構築

① 授業科目に係る体系性の構築

【九女大・九女短大AP No.4】

学修成果の可視化を推進するため、教育課程体系化の検証、シラバス記載内容の見直しおよび大学基礎力テスト等の外部テスト活用方法を検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	100%

② 学修支援の強化

【九女大・九女短大AP No.5】

学修支援の充実を図るため、令和2年9月から稼働した学務情報システムを活用した全学的な学修支援体制の充実について検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生満足度	90%
退学率（大学） ※除籍者は除く	1.5%
退学率（短大） ※除籍者は除く	1.5%

(2) 学生支援の充実

社会で通用する汎用的能力の強化を図るとともに多様化したニーズに対しての学生サービスを提供し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1) キャリア支援の強化

① キャリア形成支援プログラムの充実 【九女大・九女短大AP No.6】

就職について、学生が自力でキャリア形成を目指せる支援を行うため、キャリアデザイン授業およびアセスメントテストを実施する。また、外部講師による講義およびマナー教育を充実し、社会人基礎力と就職に向けた一般常識の養成を行う。

② 卒業生ネットワークの構築 【九女大・九女短大AP No.7】

卒業生との連携強化および卒業生ネットワークの構築を図り、在学生の進路選択に活用するため、卒業時（卒業学年）アンケートの実施および卒業生アンケートを継続して実施し、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：卒業時アンケート回収率	75%
卒業生アンケート回収率	10%

2) 国際交流システムの構築

① グローバル化への対応の強化 【九女大・九女短大AP No.8】

現代社会のグローバル化に対応するため、「2言語のことば教育（日本語・英語）の重視」を充実し、また、社会常識と判断力育成を目指した教養教育を充実させ、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：イングリッシュワークショップ参加者数	20人
---------------------------	-----

② 海外協定校との連携の充実 【九女大・九女短大AP No.9】

海外協定校との人事交流を促進し、学生の海外研修プログラムの参加を促進するため、従来の協定校からの留学生の受け入れと支援を継続して実施するとともに、新たな形式による国際交流の方法を検討する。また、海外研修プログラム等の参加を促進し、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：海外研修プログラム参加者数	25人
----------------------	-----

(3) 大学運営の充実

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1) 広報活動の強化

① 学生募集・広報の充実 【九女大・九女短大AP No.10】

ブランドイメージを構築し、志願者の増加による安定的な入学者の確保を図るため、広報戦略の強化、保護者をターゲットとしたSNS等の告知強化を図る。また、リピーターが多く参加するオープンキャンパスを実施し、本学の重点校との良好な関係を構築して、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：オープンキャンパス参加者数	1,150人
オープンキャンパスリピート率	45%
受験者数（大学）	700人
受験者数（短大）	190人

② 高大連携の促進 【九女大・九女短大AP No.11】

高大連携に係る教育の連携により、学生募集に結びつけるため、連携協定校の拡充を図る。また、連携事業として本学施設を利用した模擬授業等の実施、教員が高等学校に出向いて行う出前授業を実施し、以下の成果指標を設定する。

〔成果指標〕：協定校からの入学者数	32人
-------------------	-----

③学力の3要素を踏まえた入試制度改革の促進 【九女大・九女短大AP No.12】

学力の3要素を踏まえた入試を実施するため、新たに制度設計された入試制度について、入試実施後の検証、および新学習指導要領に向けた検討を行う。また、アドミッションオフィサー育成のため、外部機関で実施している研修へ職員を派遣し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：入試制度改革の実施率 100%
アドミッションオフィサー育成の研修参加人数（延べ） 2人

2) 運営組織体制の強化

①国内の他大学との連携の強化 【九女大・九女短大AP No.13】

本学と同一または類似した学問分野を持つ国内大学と連携し、質の高い教育を実践するため、近隣他大学との連携を通じて地元就職向上施策等について情報交換するとともに、遠方他大学における連携可能な大学の調査および視察を行う。

[成果指標]：連携した大学数 1校

②地域連携・産学連携の強化 【九女大・九女短大AP No.14】

産業界との連携体制を整備し、学生の就職支援施策に繋げるため、自治体との連携事業を推進し、地域連携事業に関する研究を行うとともに連携事業を点検・評価する。また、インターンシップ事業および企業連携を推進する。

[成果指標]：共同研究・受託研究実施件数 1件

③FD・SDの強化 【九女大・九女短大AP No.15】

授業方法や授業内容の改善および教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図るため、教育活動に係るFD、研究活動に係るFD活動を推進する。また、SD活動に関しては、学内研修会の実施、学外研修会への参加をとおして情報共有し、大学運営機能を強化し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修会への専任教員参加率 100%
SD研修会への教職員参加率 100%

3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、「すべての生徒一人ひとりのために教育を行う高校を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、「人間開発」、「学力開発」を基軸とし、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康と体力)の調和のとれた豊かな人間性を養い、規律・勤労・礼儀を体得し、社会を生き抜くことのできる人材を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)生徒支援の充実、(3)高校運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育活動の充実

生徒一人一人に対して、充実した教育活動を実施し、各クラス・コースの学力の向上を図り、受験対策指導の強化を推進する。

1)学力の向上

①授業内容の充実 【高校AP No.1】

教科科目の領域を横断し、主体的で対話的なより深い学びを実現させるため、ICTを活用した授業内容の充実、教科別指導計画の作成、英語力の向上および外部模試による学力の伸長を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ICTを活用した公開授業実施回数 3回
教科別指導計画作成 100%
3年生のGTEC690点以上または英検CSE1700点以上の人数 125人

外部模試前年比較伸長割合 60%

②教科指導力の向上 **【高校AP No.2】**

新学習指導要領の施行と入試制度改革を迎え、本校が普通科「進学校」としての学習成果および大学合格を更に高いレベルに上げるため、新教育課程検討部会および教科学習会を開催し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：新教育課程検討部会 10回
教科学習会（教科会議） 8回

2) 受験対策指導の強化

①難関国公立大学合格への教育指導内容の充実 **【高校AP No.3】**

難関国公立大学合格を目指す生徒を増やし、合格実績の増加を図るため、教科別入試問題研究会を設置し、教員の教科指導力と受験指導を向上させる。また、放課後の講座制課外を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：入試問題研究会（教科会議） 8回
予備校教員セミナー参加者数 5人
難関国公立大学合格者数 12人

②国公立大学への合格実績の向上 **【高校AP No.4】**

新しい入試制度に対応し、生徒が目標とする大学へ進学するため、学習環境を整備する。また、入試問題研究会の設置等による調査・研究に基づき、総合型選抜入試や学校推薦型入試に対応できる学力および人間力向上を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学の合格者数 ※難関大学を除く 90人
総合型選抜、学校推薦型選抜での合格者数 30人

(2) 生徒支援の充実

学校行事や部活動の活性化を図るとともに、キャリア教育をとおして生徒支援を推進する。

1) キャリア教育の充実

①LCP（リバティキャリアプラン）の充実 **【高校AP No.5】**

授業における総合的な探究の時間において、生徒が自ら課題を発見し情報を収集・分析して解決できる資質・能力の育成を目指すために、論理的文章作成能力の育成、ディスカッション・プレゼン能力の向上、外部講師や校外活動の充実および生徒の成長のための探究学習を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：外部講師の講演 4回
校外学習 4回
探究学習の完成 90%
評価方法の作成 100%

2) 特別活動・部活動の活性化

①学校行事の充実 **【高校AP No.6】**

自立した生徒の育成プランとして生徒主体の学校行事の充実を図り、生徒一人ひとりが自由と責任に基づき行動できるように指導し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：文化祭来校者数 1,100人
体育祭の満足度 83%
文化祭・体育祭の中学生見学者数 140人

②部活動の充実 **【高校AP No.7】**

興味関心のある部活動に積極的に参加し、社会性を身につけるとともに、高校生活を充実させ、希望進路を実現するため、活動状況、部員数、成績等を把握し、部活動顧問のサポート体制の構築および部活動顧問会議を開催することにより、部活動の活性化を図る。また、文化部加入率の向上のため、活動状況を発表できる場を設け、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：部活動加入率	64%
文化部加入率	24%
文化部校内発表会の開催回数	4回

(3) 高校運営の強化

志願者および入学定員の確保を目指した募集広報活動の展開と、組織の活性化を図り、地域に根差した魅力ある学校づくりを推進する。

1) 戦略的募集広報活動の推進

① 中学校・塾への募集広報活動の強化 【高校AP No.8】

本学への興味・関心を高め、志願者および入学者の増加を図るため、中学校・塾主催の高校説明会への参加、PTA等の高校訪問に伴う募集活動および出前授業・特別講座を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：中学校・塾主催高校説明会数	52回
高校訪問（PTA・中学生等）の来校者数	320人
出前授業・特別講座	24回

② オープンスクールの活性化とホームページの活用 【高校AP No.9】

本学への興味・関心を高め、志願者および入学者の増加を図るため、学校見学会（オープンスクール等）の活性化およびホームページを活用した広報活動を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンスクール等の来場者数	2,600人
ホームページの平均閲覧者数	28,000人
定員充足率	97%

2) 地域貢献活動、高大連携の推進

① 地域貢献、ボランティア活動の充実 【高校AP No.10】

地域社会との交流やボランティア活動をとおして、地域に根差し、信頼・評価される開かれた学校づくりを目指すため、地域貢献活動としてパソコン講座を企画し、インターアクトクラブを中心としたボランティア活動の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：パソコン公開講座参加者数	40人
ボランティア活動参加者数	350人

② 高大連携の推進 【高校AP No.11】

高大連携の場を多く設けることで、生徒の進路意識を高め、将来の目標を持たせるために、本校での大学説明会および大学見学会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学説明会	3回
大学見学会	2回

4. 九州女子大学附属幼稚園

九州女子大学附属幼稚園は、「健全な幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを使命として掲げるとともに、育成方針を、義務教育およびその後の教育の基礎を培い、心身ともに健や

(2) 自由ヶ丘幼稚園**1) 保育内容の充実**

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①幼稚園教育の質の向上**【自由幼AP No.1】**

幼稚園教育の質の保証および日常保育の質の向上を図るため、充実した指導計画の作成、計画的な研修の実施および幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修会への参加回数	55回
小学校交流	4回

②園の特色を活かした教育課程の編成**【自由幼AP No.2】**

日々の保育の評価と改善の検討により教育課程を充実させるため、学年会議(編成会議)において次年度カリキュラムを検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：編成会議	3回
-------------	----

2) 大学・地域との連携強化

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①学園設置大学との連携の強化**【自由幼AP No.3】**

附属幼稚園の特質を活用した保育内容と保育力の向上を図るため、学生・大学教員との連携、幼稚園教員の大学への講師派遣を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：リトミック教室の実施回数(学年)	30回
体操教室の実施回数(学年)	30回

②地域との交流の推進**【自由幼AP No.4】**

地域に信頼され、地域に支持される幼稚園を構築するため、田植え等を通じた地域交流、おりお母と子の図書館との交流、地域内の他園または附属幼稚園間の交流を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域交流	10回
-------------	-----

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①園児募集・広報の強化**【自由幼AP No.5】**

保護者の本園に対する理解を深め、本園への入園に繋げるため、未就園児教室および広報活動の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：入園率(未就園児教室)	85%
子育て相談	8回
総園児数	230名

②安全対策の徹底**【自由幼AP No.6】**

日々の保育が安全に守られ安心して保育できる幼稚園にするため、バス運行の安全対策、交通安全対策、戸外活動の安全対策、災害時の安全対策、遊具・建物の点検、職員に対する危機管理研修を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：避難訓練	2回
点検等	3回
研修	1回

(3) 鞍手幼稚園**1) 保育内容の充実**

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①幼稚園教育の質の向上 **【鞍手幼AP No.1】**

幼稚園教育の質の保証および日常保育の質の向上を図るため、計画的な研修の実施、充実した指導計画の作成および幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外研修の参加回数 30回
園内報告会の実施回数 10回

②園の特色を活かした教育課程の編成 **【鞍手幼AP No.2】**

鞍手町唯一の幼稚園保育を保護者等に周知するため、カリキュラムに則した年間指導計画の充実および自然環境を活かしたカリキュラムの充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外保育回数 12回

2) 大学・地域との連携強化

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①学園設置大学との連携の強化 **【鞍手幼AP No.3】**

附属幼稚園の特質を活用した保育内容と保育力の向上を図るため、学生と連携した企画を実施する。さらに、大学の実践研究や臨床研究へ参加し保護者へのフィードバックを行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生の保育行事への参加回数 7回

②地域との交流の推進 **【鞍手幼AP No.4】**

地域に信頼され、地域に支持される幼稚園を構築するため、地域の施設等との連携、地域内の他園または附属幼稚園との交流を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域施設との交流回数 13回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①園児募集・広報の強化 **【鞍手幼AP No.5】**

保護者の本園に対する理解を深め、本園への入園に繋げるため、広報活動（保育情報の発信、保育参観、発表会）と未就園児教室の充実を図る。さらに、子育て支援活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ等の更新 30回/月
広報活動 20件
総園児数 150名

②安全対策の徹底 **【鞍手幼AP No.6】**

日々の保育が安全に守られ安心して保育できる幼稚園にするため、安全・衛生点検の強化、危機管理の強化を徹底し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数 9回
職員間の安全管理への意識 4.3点
避難訓練の実施 6回

5. 管理運営

【重点項目1】学園内ネットワークの効率的運用

【管理運営AP No.1】

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 【重点項目2】組織の若返りによる組織活力の維持向上 | 【管理運営AP No.2】 |
| 【重点項目3】組織活性化のための制度改革の実行 | 【管理運営AP No.3】 |
| 【重点項目4】事務職員の能力開発（SD）の推進 | 【管理運営AP No.4】 |

6. 財務・環境整備

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 【重点項目1】収入増加と財政に応じた支出の検討 | 【財務・環境整備AP No.1】 |
| 【重点項目2】事業別収支体質の強化 | 【財務・環境整備AP No.2】 |
| 【重点項目3】施設設備の計画的な整備 | 【財務・環境整備AP No.3】 |